

# 「つながり」を広げることがキーワード

## 拡大支部長交流会に55名参加



6/6(土) 拡大支部長交流会を和歌山市中央コミュニティセンターで行いました。この交流会は、08年度の支部活動の診断をレーダーチャートにまとめ、09年度の支部の年間計画、及び支部活動を交流する目的で開催されました。支部長や運営委員さんら55名が参加しました。

学習講演は、大阪から医療生協かわち野生活協同組合の吉田満組織

部長に「元気につながって!地域にまると健康づくり」というテーマで、全国的に注目されている医療生協かわち野の組合員活動について話していただきました。

吉田さんは、地域住民の健康づくりの応援として、医療生協の存在を示され、保健予防活動、特に健診活動では、「あなたの命が大切です」「あなたに生きてほしい」、だから健康診断を受けてほしいという、医療生協らしいヒューマンイズムで組合員さんらが、健診を広げている様子が報告されました。また、支部活動、班活動は人と人とのつながりを大切にすることで、多彩で楽しい活動をすすめる中で大きく前進していること、その中で支部・班、組合員の自主的な運動にも支えられ、元気な医療生協になっていることが話されました。

吉田さんの多彩な報告で、参加された組合員さんも、そのダイナミックな活動に、班会のヒントや支部活動など、多くのことが学べた講演でした。

講演の後、3支部から支部活動について報告されました。



くすみ支部の上田さんの報告は支部総会の議案で昨年度の活動や今年度の計画などが報告されました。笑いと元気の輪がひろがった取り組みや地域の方々に医療生協の活動を知らせる工夫、まちなみマップの要求が実現したことなど、支部の多彩な活動が紹介されました。今年の支部の活動テーマは「赤ちゃんから高齢者が安心してくらしつづけられる楠見地域」をモットーに取り組みます。



四ヶ郷支部の後さんの報告は、毎月行っている高齢者の「お楽しみ会」について、高齢者の方々に大変喜ばれているとの報告がされました。



南支部の寺下さんの報告は、医療生協の活動が空白の地域で、住民に医療生協を知らせ班ができ、支部づくりの展望がもてる取り組みの報告がされました。

### 交流会での感想

○吉田さんは若く、親しみのある話し方で講演して下さい楽しく聞けました。いろいろな活動を教えてもらい参考にします。打田も役員さんは元気なのに、元気のない活動なので、今後もハチドリになって頑張っていきたいです。カステラもおいしくよばれました。ちひろのカレンダーでのバッグ、帰り次第すぐにつくりたいです。

○「つながりづくり」「楽しみながら」をつかんで離さず基本にしている事を何度も言われていたが、大切なことだと思った。

○班会は楽しいもの、サークルを次々に立ち上げ、つながりを広く、深くして、活動の輪を大きくすることが、健診のひろがり、事業所の結集につながるがよくわかった。

○たくさん学ぶべき事がありました。どれか一つでも集中して、できないものはないか、運営委員会で討議していきます。

○支部総会の内容に工夫されていて参考にしたいと思いました。食事会の取り組みは喜ばれている様子、できたらいいな。

## 運営委員さんのよびかけで新班・・・河北東支部

5/29 河北東支部で「すみれ班」が誕生しました。河北東支部の運営委員さんであるYさんのよびかけで、川永県住の集会所に8名の組合員さんが集まり、骨密度測定などの健康チェックを行いました。この班会に運営委員で「ももちゃん班」の班長の山下さんも参加して、班会のお手伝いをさせていただきました。

